

# 北上市立大学（仮称）基本構想 議会での取り組みと議論

北上市議会議長  
菊池 勝

# これまでの議会の動き

前年度までの調査を受けて...

令和6年6月通常会議  
基本構想策定委託費用  
747万6千円採択

議会

市政調査会  
大学設置調査専門  
委員会

公立大学協会講師  
勉強会

意見交換  
ワークショップ

市民アンケート

議会だより特集

議会全員協議会

議員  
会派

市民説明  
ヒアリング

基本構想策定  
委員会傍聴

視察調査

一般質問・  
代表質問

# 北上市市政調査会大学設置調査専門委員会

## 1 設置の目的

市長が進める大学設置構想について、今後の議案審議の際の適切な議論や判断を行うために、議員の知識習得に係る研修等の企画立案・実施を行う。

## 2 設置の期間

令和6年5月23日から令和7年3月31日まで

# 北上市市政調査会大学設置調査専門委員会

## 3 研修実績

- ・ 令和6年6月      研修：北上市大学設置基本調査報告書について  
説明者：北上市企画部長
- ・ 令和6年11月      研修：公立大学設置の最近の動向について  
講師：一般社団法人公立大学協会  
常務理事・事務局長 中田 晃 氏
- ・ 令和7年1月      ワークショップ：大学設置への論点整理  
講師：青森大学社会学部教授  
早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員  
佐藤 淳 氏

# 市民アンケート（北上市議会広報委員会）

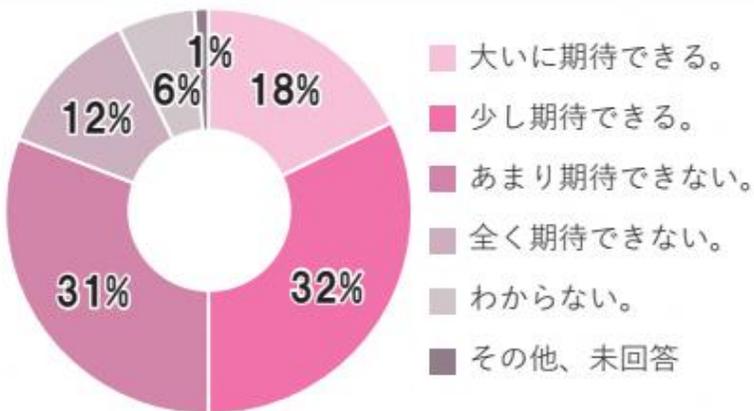


北上市議会だより  
第136号

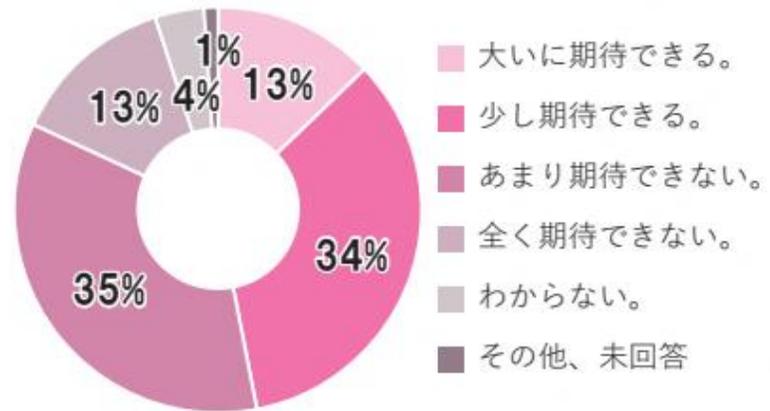
- 1 目的：大学設置に関する市民意見の調査のため。
- 2 調査期間：11月7日～12月16日
- 3 調査方法：選択式、書面およびWeb回答
- 4 回答数：368件

## アンケート結果抜粋

Q 当市に大学を設置する場合、高度人材育成および確保への効果は期待できると思いますか。

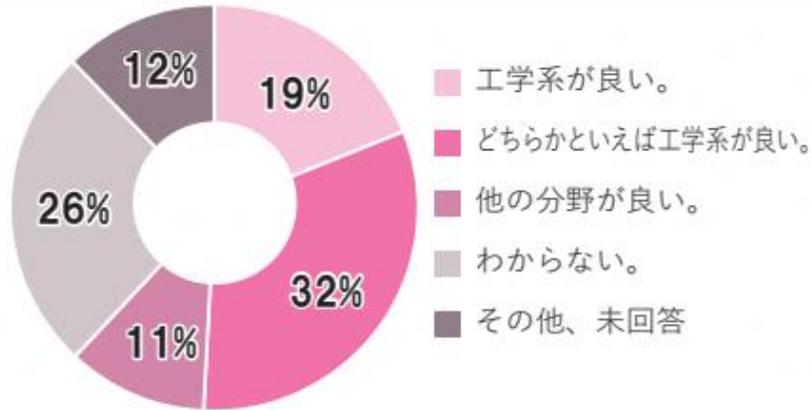


Q 当市に大学を設置する場合、若年層の市外への流出抑制および市内への流入増加は期待できると思いますか。

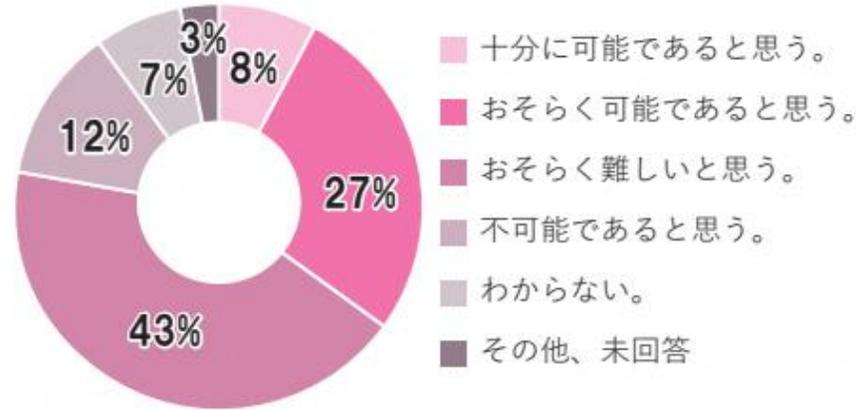


# アンケート結果抜粋

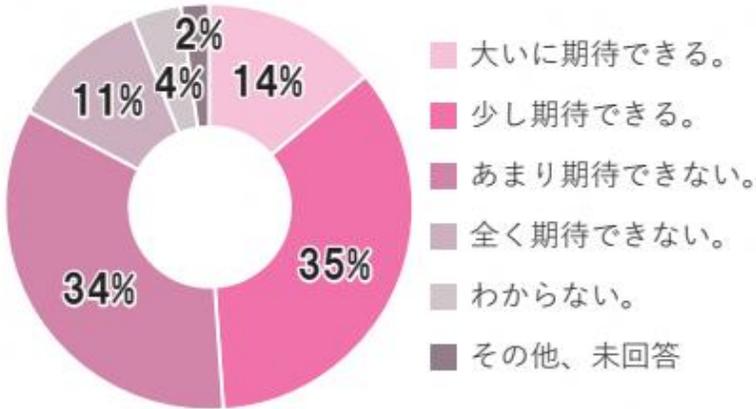
Q 当市に大学を設置する場合、市では工学系の分野を検討していますが、どのように思いますか。



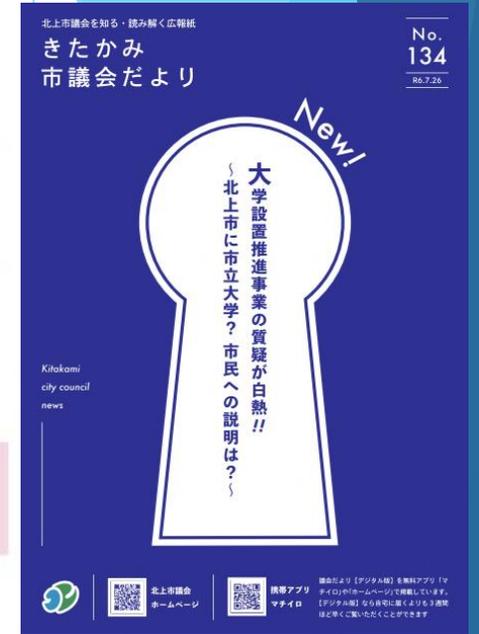
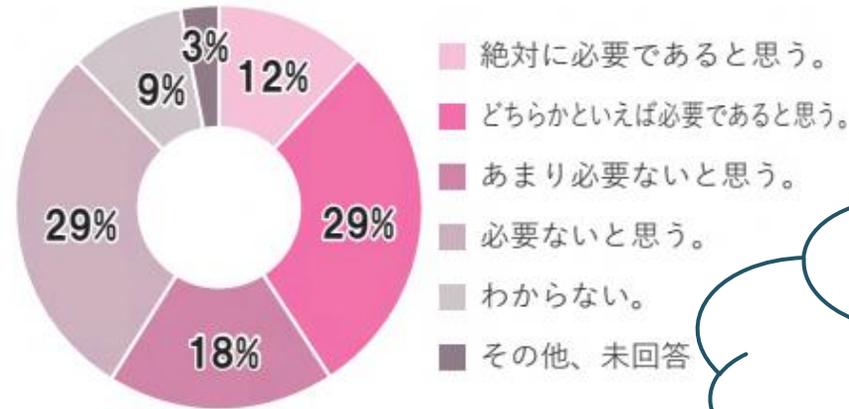
Q 当市に大学を設置する場合、学生の確保は可能だと思いますか。



Q 大学設置による経済的波及効果は期待できると思いますか。



Q 北上市への大学設置は必要であると思いますか。



議会だよりではアンケート以外にも特集記事の掲載を行いました(第134号)

# 視察調査

## 1 目的

大学設置に係る他市の先進事例の調査研究。

## 2 視察先

視察先	所在地	視察日	視察者
三条市立大学	新潟県三条市	令和4年10月18日	北上まほろばクラブ
		令和7年1月27日	
三重県政策企画部企画課 (三重県立大学構想)	三重県津市	令和7年3月27日	
公立千歳科学技術大学	北海道千歳市	令和7年5月7日	新清会・北政会
公立はこだて未来大学	北海道函館市	令和7年5月8日	
公立小松大学	石川県小松市	令和7年5月13日	北新ネット・無会派
公立大学法人会津大学	福島県会津若松	令和7年5月15日	

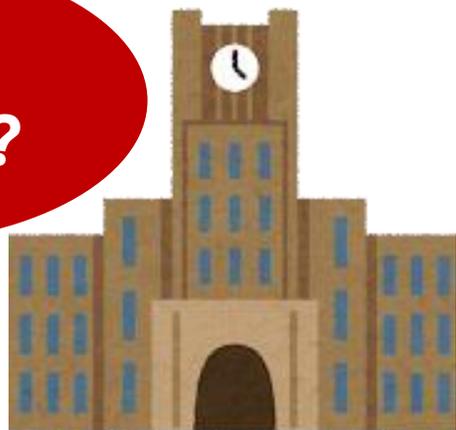
# 北上市議会

## 一般質問・代表質問／議会全員協議会

市議会日程		主な内容
令和6年6月通常会議	一般質問	北上市大学設置基本調査報告について
9月通常会議	一般質問	大学設置基本構想策定について
12月通常会議	一般質問	北上市立大学設置のデメリットについて
令和7年2月通常会議	代表質問	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学の必要性と市の方向性について</li><li>・大学設置についての市民への説明について</li><li>・基本構想策定委員会の主な提案内容への市の考えについて 他</li></ul>
議会全員協議会（3/28）	報告	北上市立大学（仮称）基本構想について
議会全員協議会（4/21）	調査研究	北上市立大学（仮称）基本構想に関する当局からの質疑回答（113項目）

# 議会での議論になっているポイント

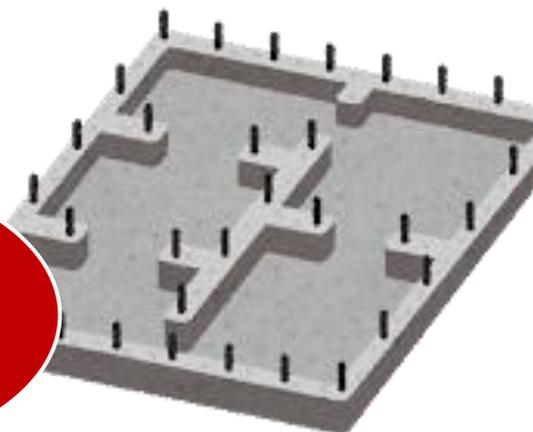
そもそも  
なぜ大学？



先生・学生  
集まるの？



場所



お金



# Q&Aで議会での主なやりとりを ご説明していきます

Q：議会からの質問

A：市からの回答



Q.そもそもなぜ大学？

医療・福祉・教育・インフラ...

他にやるべきことがあるのでは？



- A. 福祉・教育など必要な施策もこれまで通り実施します。  
人口減少の時代に、一人ひとりの能力を高めることが必要。  
大学設置は未来に向けた生き残り戦略です。  
「知の総和」を増やし、生産維持・発展していくことで  
市民サービスも守っていけると考えています。

Q.学部はどうやって決まったのか？

最初は大学だけだったのが、

なぜ大学院にまでひろがったのか？



A. 高校2年生や企業へのアンケートのニーズで理工学部  
決定しました。

基本構想策定委員会において、理工学部であれば  
大学院が必要との意見が多く、設置することにしました。

Q.グローバルスタンダード（世界標準）の  
工学系教育と最先端研究の実践は、  
一自治体である北上市で実現できるのか？



A. 基本構想策定委員会での議論を踏まえ、実現可能と判断し、基本構想にまとめました。構想を実現させるための教育過程やカリキュラム等の作成は、基本計画の中で揉んで特徴をだしていくこととなります。

## Q. 少子化の時代、学生は集まるの？

※文科省のデータでは2026年以降は18歳人口の減少に伴い大学進学率が上昇しても大学進学者数は減少するとされている。

2040年には18歳人口が現在の3分の2に減少する。

2040年の岩手県公立大学の定員充足は約62%になる予想。

- A. 公立は授業料が安いいため人が集まりやすく、高校生アンケート等からも定員は確保できると考えます。



## Q. 教員・職員は集まるの？

※大学の魅力は教授陣にかかっていると言っても過言ではありません。安定した運営・経営には専門的な職員も必須。

- A. 人脈のある学長を選び、ネットワークによるスカウティングや公募選考による採用を想定しています。  
魅力ある研究環境等整えることで、確保は可能と考えます。



## Q. 市内の学生は入学できるの？

※先進事例では80名定員で地元入学者は一桁でした。



- A. 高等教育機関では、地元に限らず広く全国から学生が集まるものと捉えており、地元学生の進学希望に添えない場面も想定されます。その対応として、入試における地域枠の設定なども検討します。

Q. 学生たちは卒業後に北上で働いてくれるのか？

大学院卒の就職先はあるのか？

※先進事例では80名定員で地元就職者は一桁でした。

- A. 定着率は期待通りにはいかないかもしれませんが、大学期間を北上で過ごしてくれることにも大きな意味があると考えます。
- 大学院卒の就職先は地元企業にも前例があるので、一定の受け皿はあると考えています。

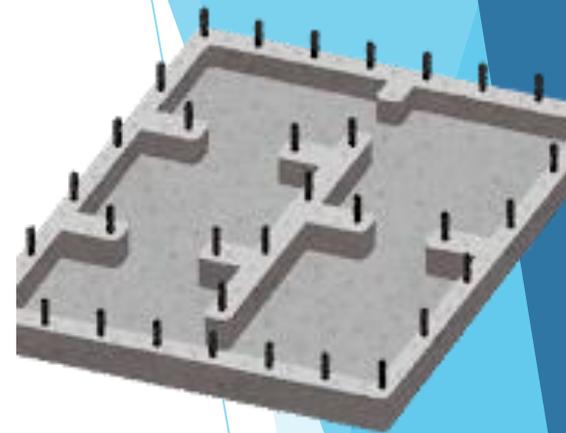


Q. 予測不能な少子化の時代。  
将来的に大丈夫なのか？

A. 予測不能な時代を生き抜き、社会に貢献できる人材を  
育てていくことが必要です。  
大学設置はリスクではなく生き残り戦略です。



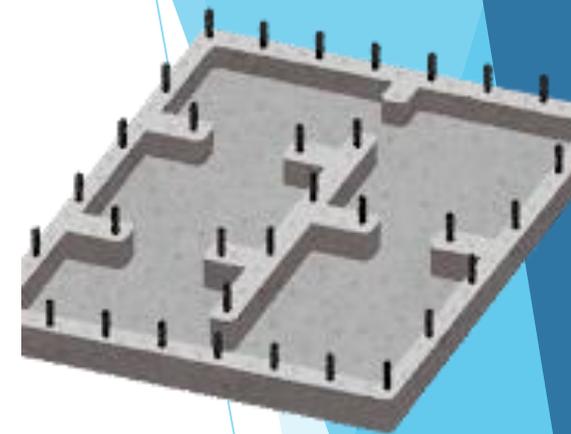
Q. どうして本通り二丁目地区に  
建てるのか？



A. アンケート結果で「まちなか」がよいとの  
回答が多く寄せられました。アクセスの容易さもあります。  
現在進行中の再開発事業と合わせることで、  
にぎわい創出や補助金も期待できます。

Q. 本通り二丁目地区への立地は、  
住民にどのような影響や変化を  
もたらすのか？

A. 地域住民にとっても図書館利用や、散歩コースの  
一部として大学を活用できます。大学が地域の学びの場、  
憩いの場になることが期待できます。



## Q. 予算額は？

- A. 現在は117億円で試算しています。  
内訳は土地・整地に約20億円、調査設計に約3億円、  
建物建設に計79億円、設備備品に約15億円と見積  
もっています。  
補助金（約34億円）も出るので市の持ち出しは  
83億4300万円で、3億円ずつ30年にわたって  
返していきます。



# Q. 開学前にかかる費用、開学後の 機器更新や修繕にかかる積み立ては 予算に入れているのか？



※先行事例では開学後黒字であっても、積み立てできず、更新までに積み立てなければ、市に予算要求するしかないとのことでした。

- A. 大学のカリキュラム設計等のために、開学前に教員の雇用が予想されるため、その予算についてはこれから検討していきます。  
開学後の機器更新等の積み立てについても今後検討していきます。

Q. 市税を使って市外から入学して市外に出ていく子供たちを教育するのは市の役割なのか？

A. 大学の役割は社会の発展に寄与することです。地元以外出身者が多数を占めたとしても、大学における研究活動などが地域の発展に寄与するものと考えます。



Q. 大学に多くの予算を使うことで  
他の市民サービスが縮小しないのか



A. 大学設置で何かを縮小するというのではなく、  
毎年の予算の中で、市として必要な施策を実施して  
いきます。

Q. 定員に満たなくても

収支は成り立つのか？

経営が成り立たなくなったら責任は？

A. 5名程度の欠員は対応できると考えています。

万が一閉校になった場合は、運営する大学法人を清算する中で、最終的には市が責任を負います。



## Q. スケジュールに無理があるのでは？

※補助金を年末までに申請したいため、市の資料上は基本計画の予算要求を6月に行うとあります。

A. 議会への議論や市民説明の状況を踏まえ判断していきます。



# 北上市立大学（仮称）構想、 市民のみなさんはどう考えますか？

